

小5

◆歴史人物（1）◆

下巻5回

氏名

得点

各4点
100点

1	私は邪馬台国の女王として、中国の魏に使いを送り、「親魏倭王」の称号をもらいました。私の国は女性の王の方がよくまとまるみたい。	
2	私は5世紀ごろ、南北朝に分裂していた中国に使いを送りました。「東は55か国、西は66か国、北は95か国を従えた」という内容です。私の名前を書いた鉄刀や鉄剣が、熊本県の江田船山や埼玉県の稻荷山で見つかっています。	
3	私は「最初の女性の天皇」の摂政になって、天皇中心の政治をおこないました。法隆寺や四天王寺を作らせたのも私です。	
4	私は607年にその頃、隋とよばれた中国に渡りました。対等の外交を求める手紙により中国皇帝の怒りをかいりました。	
5	私は645年に蘇我氏を滅ぼし、大化の改新という政治改革を行いました。白村江の戦いに敗れた後、近江（滋賀県）の大津宮で天皇に即位しました。	
6	私は問5の人物と協力し、大化の改新という政治の改革を行いました。のちに藤原という名前をいただきました。	
7	私は問5の人物の弟で、壬申の乱に勝って天皇に即位しました。都を作り、法令を定めるなど、天皇の地位と国の基礎固めを行いました。	
8	私は問7の天皇の妻で、のちに私自身も天皇に即位しました。日本で初の本格的な都の藤原京をつくりました。歴史上初めて上皇の位についたのも私です。	
9	私は仏教の力で国を治めようと、全国にお寺を造らせ、また都に大仏を造るよう命じました。何度も都を移した引っ越し好き？な天皇と思われてます。	
10	私は仏教を広めるため、各地に橋や池などをつくり、民衆にしたわれました。後に大仏づくりにも協力しました。	
11	私は仏教を広めるため中国から日本に来ようとしたが、何度も失敗し、失明しながらもようやく6度目で成功しました。来日後は唐招提寺を開きました。	

12	私は遣唐使として中国に渡りましたが帰国できませんでした。「天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山にいでし月かも」と歌いました。	
13	私は長岡京や平安京に都を移し、律令政治を立て直そうとしました。	
14	私は問13の人物の命令で「征夷大將軍」となり、東北地方の蝦夷 <small>えみし</small> と戦いました。	
15	私は遣唐使の停止を進言しましたが、九州の大宰府にうつされてしまいました。死後は「学問の神様」としてまつられています。	
16	私は天皇と親戚関係を結び、摂政として政治の実権を握りました。「この世をば我が世とぞ思う望月の欠けたることもなしと思えば」と歌いました。	
17	私は問16の人物の息子です。京都の宇治に平等院鳳凰堂 <small>ひょうどういんほうおうどう</small> をつくらせたのは私です。	
18	私は関東地方で「新皇」と名乗り、反乱を起こした武士です。	
19	私は瀬戸内海で海賊をひきいて、反乱を起こした武士です。	
20	私は1086年に天皇の位を退いた後も、屋敷である「院」で政治の実権を握り続けました。	
21	私は武士で最初の太政大臣になりました。また大輪田泊で宋と貿易したり、厳島神社を保護したりしました。	
22	私は藤原氏の娘・影子 <small>しょうし</small> さまに仕えました。長編小説の「源氏物語」は私の作品です。	
23	私は藤原氏の娘・定子 <small>ていし</small> さまに仕えました。「春はあければの」で知られる隨筆の「枕草子」は私の作品です。	
24	私は9世紀初め唐に渡り新しい仏教を学びました。比叡山延暦寺で天台宗を広めました。	
25	私は9世紀初め唐に渡り新しい仏教を学び、高野山金剛峰寺 <small>こうやさんこんごうぶっじ</small> で真言宗を広めました。また満濃池を改修しました。	

小5

◆歴史人物（1）◆

下巻5回

氏名

満点 どれ太

得点

各4点
100点

1	私は邪馬台国の女王として、中国の魏に使いを送り、「親魏倭王」の称号をもらいました。私の国は女性の王の方がよくまとまるみたい。	ひみこ 卑弥呼
2	私は5世紀ごろ、南北朝に分裂していた中国に使いを送りました。「東は55か国、西は66か国、北は95か国を従えた」という内容です。私の名前を書いた鉄刀や鉄剣が、熊本県の江田船山や埼玉県の稻荷山で見つかっています。	ぶ ゆうりやく 武（雄略天皇・ワカタケル大王）
3	私は「最初の女性の天皇」の摂政になって、天皇中心の政治をおこないました。法隆寺や四天王寺を作らせたのも私です。	聖徳太子
4	私は607年にその頃、隋とよばれた中国に渡りました。対等の外交を求める手紙により中国皇帝の怒りをかいました。	おののいもこ 小野妹子
5	私は645年に蘇我氏を滅ぼし、大化の革新という政治改革を行いました。白村江の戦いに敗れた後、近江（滋賀県）の大津宮で天皇に即位しました。	なかのおおえのおうじ 中大兄皇子 （天智天皇）
6	私は問5の人物と協力し、大化の革新という政治の改革を行いました。のちに藤原という名前をいただきました。	なかとみのかまたり 中臣鎌足 (藤原鎌足)
7	私は問5の人物の弟で、壬申の乱に勝って天皇に即位しました。都を作り、法令を定めるなど、天皇の地位と国の基礎固めを行いました。	天武天皇
8	私は問7の天皇の妻で、のちに私自身も天皇に即位しました。日本で初の本格的な都の藤原京をつくりました。歴史上初めて上皇の位についたのも私です。	じとう 持統天皇
9	私は仏教の力で国を治めようと、全国にお寺を造らせ、また都に大仏を造るよう命じました。何度も都を移した引っ越し好き？な天皇と思われてます。	しょうむ 聖武天皇
10	私は仏教を広めるため、各地に橋や池などをつくり、民衆にしたわれました。後に大仏づくりにも協力しました。	ぎょうき 行基
11	私は仏教を広めるため中国から日本に来ようとしたが、何度も失敗し、失明しながらもようやく6度目で成功しました。来日後は唐招提寺を開きました。	がんじん 鑑真

12	私は遣唐使として中国に渡りましたが帰国できませんでした。「天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山にいでし月かも」と歌いました。	あべのなかまろ 阿倍仲麻呂
13	私は長岡京や平安京に都を移し、律令政治を立て直そうとしました。	かんむ 桓武天皇
14	私は問13の人物の命令で「征夷大將軍」となり、東北地方の蝦夷 <small>えみし</small> と戦いました。	さかのうえのたむらまろ 坂上 田村麻呂
15	私は遣唐使の停止を進言しましたが、九州の大宰府にうつされてしまいました。死後は「学問の神様」としてまつられています。	すがわらのみちざね 菅原 道真
16	私は天皇と親戚関係を結び、摂政として政治の実権を握りました。「この世をば我が世とぞ思う望月の欠けたることもなしと思えば」と歌いました。	藤原道長
17	私は問16の人物の息子です。京都の宇治に平等院鳳凰堂をつくらせたのは私です。	よりみち 藤原頼通
18	私は関東地方で「新皇」と名乗り、反乱を起こした武士です。	たいらのまさかど 平 将門
19	私は瀬戸内海で海賊をひきいて、反乱を起こした武士です。	すみとも 藤原純友
20	私は1086年に天皇の位を退いた後も、屋敷である「院」で政治の実権を握り続けました。	白河上皇
21	私は武士で最初の太政大臣になりました。また大輪田泊で宋と貿易したり、厳島神社を保護したりしました。	たいらのきよもり 平 清盛
22	私は藤原氏の娘・影子 <small>しょうし</small> さまに仕えました。長編小説の「源氏物語」は私の作品です。	むらさきしきぶ 紫式部
23	私は藤原氏の娘・定子 <small>ていし</small> さまに仕えました。「春はあければの」で知られる隨筆の「枕草子」は私の作品です。	せいしょうなごん 清少納言
24	私は9世紀初め唐に渡り新しい仏教を学びました。比叡山延暦寺で天台宗を広めました。	ひえいさん さいちょう てんぎょうだいし 最澄 (伝教大師)
25	私は9世紀初め唐に渡り新しい仏教を学び、高野山金剛峰寺で真言宗を広めました。また満濃池を改修しました。	こうやさん こうぼうだいし 空海 (弘法大師)